



## ツシマヤマネコの放獣

6月11日、対馬野生生物保護センターによって昨年



保護されたツシマヤマネコが自然に返されました。平成20年2月1日に、上対馬町一重地区の路上で保護されたヤマネコは交通事故に遭い、意識不明の状態となっていたところを、南陽小学校の児童に見発見されました。

ツシマヤマネコは川に沿って移動する習性があるため、今回も清流のそばに放されました。しかし、臆病な性格のためか、なかなか森の中へ帰ろうとせずとまどっていたようです。

対馬野生生物保護センターの職員は、「このヤマネコのように、人のそばを離れず、森の中へ行こうとしないヤマネコは初めてです。1年以上の長い間センターで飼育していたため、野生できちんと生きていけるのか心配しています」と話していました。

## あじさい祭・パラグライディング対馬大会

6月14日、佐護地区の住民などで行く実行委員会があじさい祭を開催しました。

地元のヤマネコ太鼓演奏や保育所のお遊戯、舞踊、上対馬高校吹奏楽部の演奏が披露された他、出店も並び賑わいました。

また、アジサイの苗800株の植栽などが行われ、今年初めて実施された魚のかみ取りでは、活のいいヒ



日間行われ、1人5回まで飛び、湊浜に設置した目標円内にいかに近く着地するかを競いました。

この千俵峠山は、対馬海峡や韓国を望む絶好のフライトポイントとされており、青空には、色とりどりのパラグライダーが舞っていました。

## 親子キュウリ

上県町伊奈地区の齋藤守嗣さんの畑で珍しいキュウリが獲れました。「今までに見たこともない形」と話す齋藤さんは、大小のキュウリがあり、親が子を抱いているような印象を持ったので、「親子キュウリ」と名付けたそうです。



ラスを追いかけて歓声があがっていました。あじさいロードウォーキングには、約500人の市民が参加し、湊浜シーランドステージから異国の見える丘展望所までの往復5キロを歩きました。

参加者は、青や紫、ピンクなど、色あざやかに咲くあじさいを見ながら、楽しい会話を弾ませているようでした。

また14日は、あじさい祭と同時に千俵峠山で開催された「パラグライディング対馬大会」の最終日でした。大会は6月13日と14日の2

## 対馬志岐親善 ゲートボール大会

5月28日に豊玉町仁位地区にあるゲートボール場で、第26回対馬志岐親善ゲートボール大会が行われ、対馬市38チーム、志岐市10チームの合わせて48チームが出場しました。

対馬と志岐のゲートボール愛好者が一堂に会し、親睦を深めてふれあいの輪を広げ、健康の保持増進と競技力の向上を図ることを目的として行われています。

豊玉町唐洲チームの阿比留貢さんの力強い選手宣誓で始まった大会は、強風の



中で競技が行われましたが、日頃の練習の成果を出そうと、どのチームも真剣な表情で競技にのぞんでいました。



### 結果

優勝 大綱チーム  
準優勝 伊奈チーム  
三位 霧島チーム  
内院海士チーム

## ミニトマト出荷 目揃え会

6月2日、峰町の共同選果場で、ミニトマトの大きさや品質など、出荷規格を確認する「目揃え会」が行われ、JA対馬を通じて島内をはじめ島外にもミニトマトを出荷している生産者



が参加しました。生産者は、丹精込めて育てあげたミニトマトをより良い状態で市場へ出し、高値で取引がされるようにと説明を真剣に聞いていました。

夏から秋にかけて収穫するミニトマトは出荷する市場が、福岡や北九州市場ということで、競合する産地が多くある為、他産地との差別化を図ろうと、ツシマヤマネコを使ったシールをパッケージに貼るなどの工夫もされています。JA対馬によると、ミニトマトの昨年の出荷量は、

およそ900キロ、総売り上げは、およそ900万円ということです。今年も昨年並みの出荷量、総売り上げを目標としています。

## 高総体壮行会

6月5日から始まる長崎県高校総体を前に、3日、豊玉高校体育館で、大会に出場する、陸上、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニスの4部と、

競技の写真撮影を行う写真部、他生徒が参加し、選手壮行会が行われました。豊玉高校では、会場が遠く応援に行けない

母親たちが、応援の気持ちを入れておにぎりを作り、選手を激励しています。今年も母親委員会が、朝9時から作業を始め、全生徒分のおにぎりを作りました。豊玉高校では今年初めて、全校生徒で応援に向い、選手たちに熱いエールを送りました。



## 長崎県乾しいたけ 品評会

5月23日、対馬市交流センターで、長崎県しいたけ振興対策協議会主催の第49回県乾しいたけ品評会が行われました。この品評会は、生産技術の向上を目的に毎年開催されており、167点の出品がありました。

会場では、入賞作品が展示され、表彰式では、同協議会の吉野栄二会長が、「今年は市場価格の平均単価は、少し下がったものの、依然高値で推移しています。今年の乾しいたけは、例年に勝るとも劣らない素晴らしいものだと思います」と述べました。



また、高屋雅生審査委員長から「例年になく暖冬など、厳しい条件の中、出品数は昨年より減少したものの、昨年を上回る出来栄でした」と講評がありました。

**結果**  
農林水産大臣賞  
永尾賢一さん(厳原)  
林野庁長官賞、  
吉田 永さん(厳原)  
大石勝彦さん(峰)  
長崎県知事賞  
糸瀬 傳さん(上対馬)

## 赤米田植え

6月、厳原町豆酸地区で、1300年以上前から続く古代米、赤米の田植えが行われました。

同地区では、頭仲間と呼ばれる地区の人たちが、赤米作りとそれにまつわる神事を受け継いでいます。しかし、年間を通して行われる行事や、それらに係る負担が大きい事などから頭仲



間が減少し、2007年の2月からは、主藤公敏さん一人が残り、神事を行いながら赤米作りを守っています。この田植えは、赤米神田の横を流れる水路にしめ縄をはり、赤米の神事では欠かすことのできないネズミ藻を供えて始まります。

赤米は、神田のうち3アールに植えられ、男性のみが入ることの許された水田に、最初に主藤公敏さんや

父信夫さんらが、苗を植え、残り1面を、妻の紀佐子さんや近所の住民らが手伝いました。

植えられた赤米は、10月ごろに収穫されます。

## 災害危険箇所視察

6月2日、災害の多い梅雨の時期を前に、県対馬振興局と対馬市などによる災害危険箇所の視察が実施されました。

この視察は、災害が起きた際に対応する各関係機関が、危険箇所を同時に視察する事で共通の認識を持つこと、そして防災関係機関の相互の連携を図って防災対策を万全にすることを目的に毎年行われているものです。

この日は、対馬振興局、対馬市、対馬北・南警察署、対馬市消防本部、

陸上自衛隊対馬警備隊、厳原測候所などから30名が参加しました。  
今回は厳原町、豊玉町、上県町の危険箇所を視察し、工事の進行状況とこれからの工事予定、また推定される災害事態や現在取り組んでいる災害防止対策、そして自然環境の保護に務めると共に人への被害を食い止めるための工夫などが説明されました。



## ソフトボール教室

6月14日、美津島町グリーンパークで少年ソフトボール教室が開催され、市内小学生の12チームから選手、監督、関係者ら合わせて約300人が参加しました。  
元佐世保西高男子ソフト部監督で、2003年長崎インターハイで男子ソフト部を優勝に導いた藤原晃先生と、現佐世保西高男子ソ



フト部監督の久田晴生先生を講師として招き技術指導が行われました。

## 漁業体験とお料理教室に挑戦

6月11日、水産業への理解と魚食の普及を図るため、対馬地区漁業士会と大船越小学校による定置網漁業体験とお料理教室が開かれました。



児童は、高浜漁港から約10分かけて定置網の仕掛けである漁場に到着し、海に囲まれた対馬に住みながら、漁船に乗っての漁業体験は普段なかなかできないだけに、児童達も興奮気味で、タイやアジ、サバなど、活きのいい魚が次々に上がってくる様子に、目を輝かせていました。

定置網体験後には学校にもどり、漁業士の榎野幸男さんからアジの三枚おろしの実演指導を受けました。手際よくアジをさばっていく榎野さんの様子を真剣に観察した後、慣れない手つきで包



丁を握りながら、アジと向き合っていました。

三枚おろしができると、対馬市食生活改善推進協議会美津島支部のメンバー、豊田涼子さん、浦瀬澄子さん、松村みゆきさんの指導で、「アジのチーズパン焼き」と「魚のホイル包み焼き」の2品を作りおいしく頂いていました。

## 「厳原港まつり対馬アリラン祭」開催決定!!

今年は8月1日(土)2日(日)の2日間開催されます。  
 1日(土)は、子供みこし・ギリギリマスター選手権・シンケンジャーショー・演芸の夕べ。  
 2日(日)は、舟グロー・フリーマーケット・腕相撲大会・お笑い(T-1)グランプリ・朝鮮通信使行列・演芸の夕べ・石川ひとみ歌謡ショー・納涼花火大会を予定しています。  
 熱い夏祭りにしますので、皆さん会場にお越しください。  
 (都合により予定が変更になる場合があります)



問い合わせ 厳原港まつり対馬アリラン祭実行委員会  
 対馬市厳原町国分1441(対馬市商工会厳原支所内) TEL0920 52 5046

## 万葉画「防人の島」を対馬市に寄贈

滋賀県大津市在住の日本画家鈴木靖将さんが、対馬市に万葉画「防人の島」を寄贈しました。「防人の島」は万葉集の「対馬の嶺は下雲のあらなふかむの嶺にたなびく雲を見つつ偲はも」という歌を題材にしたものです。  
 鈴木さんは、約30年前から万葉集を題材にした日本画を制作していて「万葉集を生かしたまちづくりに役立てていただければ」と話していました。万葉画「防人の島」は、畳約2畳分(縦1.9m横2.3m)の大きさで対馬市交流センター3階に展示しています。



### 対馬市福岡事務所 レポート

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目12-26福岡Dビル11F  
 TEL/092-481-6411 FAX/092-292-8786  
 ブログ/『対馬市福岡事務所レポート』 <http://tsjfuk.exblog.jp/>  
 スタッフ/武末祥人・阿比留忠明・早田優子



「スマートリュフメニュー」のお料理

### フレンチレストラン「こじま亭」 で対馬産フルコースフェアを

いわゆる「政財界の大物」が闊歩する大人の街として、福岡の名店が軒を連ねる西中洲。フレンチレストラン「こじま亭」は、ここに20年以上前から店を構える名店です。小島孔典社長は、かつて『料理の鉄人』というテレビ番組にも出演されていました。この小島社長、なんと、ご

両親が対馬出身で、ご自身も対馬でお生まれになりました。そういうことから、「何か対馬のために力になれば」とおっしゃっていただいています。

「こじま亭」では、お得意様に対し、定期的にフェアを開催されています。例えば、初夏の黒トリュフを使った「スマートリュフメニュー」(2009.6/9~7/11、ディナーコース6品、15,000円(税サ込))。対馬産を使ったこういったフェアを開催していただけないかご相談させていただいたところ、快諾いただき、実施に向けて準備を進めています。「こじま亭」のお得意様に届く素敵なDMに「対馬」が登場すること、そして「こじま亭」の手にかかるとどんなお料理になるのか、本当に楽しみです!

博多中洲 フランス料理 こじま亭

〒810-0002 福岡市中央区西中洲5-28西中洲Mビル2F TEL/092-752-4545

### 福岡で見つけた“対馬のいいもの”

福岡事務所のスタッフが、福岡で触れた対馬の素敵なものや人などをご紹介しますコーナーです。



事務所エントランスにディスプレイされた商品

なかにわデザインオフィスの中庭日出海さん福岡市南区大橋で「なかにわデザインオフィス」という個人事務所を構える、対馬出身のプロダクトデザイナー、中庭日出海さんにお会いしてきました。若干28歳、各種デザインコンペで受賞を重ねる優秀なデザイナー、それでいて笑顔がかわいらしくてほっとするような男性。現在は、4人のデザイナーと共に「ヨイチデザインストア」というオンラインストアを運営されています。こちらのストアには、スタイリッシュな照明器具、文具などの小物類、椅子などの家具類がそろっています。さっそく、7月16日~17日の観光物産展の看板のデザインを依頼させていただいたところ、素敵なものが上がってきました。(早田)

### なかにわデザインオフィス

〒815-0033 福岡市南区大橋1-8-1-306  
 TEL/090-7394-0234・FAX/092-401-6101  
<http://www.nakaniwadesign.jp>